



教育目標 「自ら学び 鍛え合おう 心豊かに たくましく」
目指す生徒像 「ふるさとを愛し、正しい心を持ち、主体的に行動する生徒」

足元を固め、足跡を残せ

校長 佐藤 光

10月中旬でも関東や新潟では夏日があったり、同日北海道では初雪が降ったりと日本列島の長さをあらためて思い知ったが、学校ではSTEP（放課後学習）が始まり、一挙に受験モードの感を呈してきた。無駄にはできない濃い一日が続くことになる。

華々しく終えた音楽発表会、全学年が金賞に輝いた歌声と吹奏楽部の熱演は素晴らしかったが、PTA合唱もまた陰の主役であった。連綿と受け継がれている取組だが、根底に流れているのは間違いなく親子愛である。役員の方々が懸命に勧誘してくださり、今年度は特に「数の力」が感動と歓喜の渦を大きくしてくれた。練習や本番を共にする中で、保護者の方々の熱意や愛情、あるいは黒川の地域性や連帯感、繋がりや強さを感じずにはいられなかった。この3年間、「あと一つ」「アイノカタチ」「未来へ」とメッセージ性の高い曲をとおして我が子に対する思い、愛情の深さを一人一人の心情に訴えかけてきたと言ってもよい。

だが、歌詞にあるほど現実はそう甘くはない。「未来へ」は「ほら 足元を見てごらん これがあなたの歩む道」のフレーズで始まるが、その歩む道は周りが用意してくれる訳ではなく、見付けるのは自分自身である。親や大人はその方向付けのヒントやアドバイスを与えることはできるが、最終的には自分で決断するしかない。学校ができるのは、それぞれが能力や適性を生かせるように、未来へのSTEPを確実に刻めるようにするための指導と支援である。

特に3年生は、今は「受験」という一点突破を目指すことになるだろうが、この波に乗る意味を分からずして、押し寄せる高校生活の波を乗り切ることにはできない。現に高校生活の途中で進路変更を余儀なくされる人の多くは、この点が十分に見えていなかった人である。

私が小中学生の頃、中村雅俊主演の「われら青春」というドラマを再放送も含め、食い入るように見ていた。毎週テレビから流れる主題歌の出だしが脳裏に焼き付いている。

♪「生まれてきたのはなぜさ 教えてぼくらは誰さ 遠い雲に聞いてみても何も言わない」

その後も言い訳のように自分なりの答えを探していた。一つの答えを同じ歌詞中の「足跡」に求めたが、生き方が軽薄すぎた。人生のさまざまな選択や判断の場で安易な方向に逃げてきた結末だ。自分でもあまりにも悲しい。また、「未来へ」の歩む道がおぼろげながら見えてきたとしても、足元がぬかるんでいてはどうしようもない。今は未来の自分を信じ、足元を固めるために勉学に打ち込んで欲しい。そして自分で納得できる足跡を残して欲しいとしか言えない。



学校の様子

10/26 音楽発表会『一致団結～歌声で黒中魂を響かせよう～』

音楽発表会までの2週間、生徒は昼休みや放課後の時間を使って、熱心に練習を重ねました。当日の生徒たちは、自分たちの思いを届けようと、精いっぱい歌声を響かせました。また、吹奏楽部の演奏やPTA合唱が発表会を盛り上げました。

(1) 1年生 <曲名> カリフ夢の旅 **金賞**

指揮者	榎本 航
紹介者	榎本 大起

指揮者 榎本 航さん

僕が指揮者として頑張ったことは2つあります。1つ目は本番でミスをしないようにたくさん練習したことです。練習では、先生の動きをたくさん見て放課後練習や昼休み練習で先生の動きを真似したり、動きをつけ加えたりしました。2つ目は歌っている人を見てアドバイスをすることです。できるだけ全体を見て「声を大きくして」や「動きを大きくして」と言ったりしました。来年は歌うことを頑張りたいです。



(2) 2年生 <曲名> あなたへ **金賞**

指揮者	緒形 太佑
紹介者	小池 千裕

指揮者 緒形 太佑さん

ぼくが指揮者として頑張ったことは2つあります。1つ目は、本番でミスをしないようにしたこと。そのために、普段の練習を真剣に取り組みました。2つ目は、その日の練習を振り返り、次の練習の課題を見つけることです。一つ一つの練習を大切にしました。

最後に、この経験を生かして、3年生になる来年の音楽発表会に貢献したいです。



(3) 3年生 <曲名> 未来 **金賞**

指揮者	傳 樹
紹介者	錦織 冴

指揮者 傳 樹さん

私は、3年生になり初めて指揮者をやりました。最初は慣れないことばかりで練習も指示も上手くいかなくとても大変でした。ですが、練習を重ねていくうちに、クラスのみんなの真剣さに背中を押され、音の強弱やアクセントを意識し、みんなと楽しく合唱ができるよう頑張りました。みんなで完全熱唱して金賞をとることができて良かったです。



吹奏楽部による演奏



PTA合唱

黒中サポーターズ便り

NO.3 2024・11

発行：地域コーディネーター
近・皆川・威本

10月4日 ミニグリーン瓶詰め
毎年、地域貢献活動として行っているミニグリーンの作製を行いました。



10月11日
いつも中学校の活動に協力、ご理解をいただいている
ロイヤル胎内パークホテル、樽ヶ橋遊園、胎内市美術館
昆虫の家、越後胎内観音様へミニグリーンをお届けしま
した。胎内市を訪れた観光客の方々が中学生からの
プレゼントを大変喜ばれたそうです。

※毎年、フォックスフェイスを中学校にお届けして
下さっている平野庄一様いつもありがとうございます。
生徒玄関に飾らせていただきました。

11月に入り、木々も色付き季節の移り変わりを
感じる今日この頃。生徒のバス通学も始まりま
した。
引き続き生徒の登下校の見守りをよろしくお願
いします。

【お問い合わせ】

黒川中学校 47-2425 (FAX 47-3115)

担当：教頭 高橋 ・ 教務 菅原

地域コーディネーター 近・威本